

女は化けるなあ

三月十五日 日曜日 女は化けるなあ

何時頃目が覚めたか知らない。
朝、早い頃であったこと確かだ。
しかし、すぐ寝直す。

ふとんにもぐっていると、
あたかも、洞窟に住むけものように、
ふとんの洞窟の外の明るさに
何度も気付くが、気にしない。

また、寝直す。

しかし、腹の方はそんな調子では
ほっておけぬ。

もし、腹が減らねば、
ずっと寝っぱなしで、動かぬ人も出てきて、
いずれ死に果てる者も出てくるかも。

もう我慢できず、やっとの事で、
起き上がり、下に降りる。

まず最初に出る言葉は、
「おばあちゃん、ごはんしてえ。」

すると、「ちょい、まってやあ。」
と、おばあちゃんから返答がもどる。

まあ、それで、めしを食う。